

2022年度 第3回理事会 議事録

日 時：2022年7月8日（金）14:00～15:30

場 所：ハイブリッド会議（オンライン及び機械振興会館6階65会議室）

出席者：23名（理事18名、監事1名、来賓2名、オブザーバー0名、事務局2名）

（会長）植田昌克 （副会長）菊地義典、池滝重隆

（常務理事）辻 勇、田口哲也、井田斉昭、加納孝樹

（理事）新村徳弥、菊地正人、岩崎真和、高橋丈助、喜多 裕、松波俊宣、萩原寛佳、
小原敏治、達 俊彦、藤島忠康、片山正典

（監事）宮西啓明

（来賓）経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 横山博之様

部品・一般産業機械二係長 宮下晃一様

（事務局）本島浩美、矢島茂光

----- ご挨拶（植田会長）

本日はご多忙のところ、日本歯車工業会第3回理事会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。お昼前に衝撃的なニュースが流れ、この先をととも憂慮しています。

ここへ来て新型コロナウイルスの感染が世界で再び広がってきています。感染力がより強いとされるBA.5などへの置き換えが進んでいるとのことですが、人出が一段と増す夏休みを目前にし、かつての行動制限規制が再び発令されないように、各々が基本的な感染対策を徹底し、感染拡大を抑えたいものです。

明後日は参議院選挙です。物価を抑える、収入を増やす、国民を守ると言った多くの候補者の公約に反し、物価は上昇を続け、収入は増えず、かつては想像すらしなかった戦争が現実化している現状です。また、連日猛暑が続き、熱中症対策でクーラーを付けるように促されるも、一方では電力が逼迫するからと節電を求められ、何か矛盾だらけの毎日です。2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロにする長期目標に対し、世界的にEV化に向かっていますが、そもそも電気が十分に供給されるのかと疑問を持ってしまいます。

また、ロシアによるウクライナ侵攻の映像を通して見るたびに、問題解決に向けて一歩でも前進する思い、姿勢がますます重要な時代が来ているのだと感じます。

本日もご多忙の中、経済産業省から横山課長補佐、宮下係長がご出席頂いています。どうぞ宜しくお願い致します。

ご挨拶（経済産業省 製造産業局 産業機械課 横山課長補佐様）

ロシアのウクライナ侵攻、中国当局による規制、コロナ等、明るいニュースはないが経済活動を止めることないよう警戒感を持って活動を続けていただければと思っています。

ご報告（経済産業省 製造産業局 産業機械課 宮下係長様）

資料：①月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

宮下係長様より「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」についてご報告頂いた。

ご報告（経済産業省 製造産業局 産業機械課 横山課長補佐様）

資料：②2022年度の電力需給と総合対策について

横山課長補佐様より「2022年度の電力需給と総合対策」についてご報告頂いた。

議 事

新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮し、定款第 37 条に則りハイブリッド会議にて理事会決議を行った。同様に定款第 39 条に基づき、植田会長、宮西監事を議事録署名人に選任した。

議 題

1. 審議・承認事項
 - 1) 2022 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制
 - 2) 各委員会の事業計画策定
2. 協議事項
無し
3. 報告事項
 - 1) 産業別高齢者雇用推進事業の件
 - 2) 鋼材硬度測定評価サービスのご案内
 - 3) 景況報告
 - 4) その他

議 題 / 決定・検討事項

1. 審議・承認事項
 - 1) 2022 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制について 資料 No. 1
2022 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制について会長より説明を行った。
※2022 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制について賛成多数により承認された。
 - 2) 各委員会の事業計画策定について 資料 No. 2
各委員会の事業計画策定について各委員長より説明を行った。
※各委員会の事業計画策定について賛成多数により承認された。
2. 協議事項
無し
3. 報告事項
 - 1) 産業別高齢者雇用推進事業の件 資料 No. 3
井田委員長より産業別高齢者雇用推進事業の実績と今後の予定について報告された。
 - 2) 鋼材硬度測定評価サービスのご案内 資料 No. 4
池滝委員長より鋼材硬度測定評価サービスのご案内について報告された。
 - 3) 景況報告
数社より事業の景況についての報告があった。
 - ・ウクライナ侵攻や上海ロックダウンの影響で材料入手が困難、物によっては悪化傾向。
 - ・東南アジアは活況が戻ってきている傾向にある。

- ・ 短期間での取引先からの値上げ要請により、売価反映に苦勞している。受け入れざるを得ないが客先との売価交渉が難儀している。
- ・ 船外機の歯車関係が過去最高の受注を記録した。
- ・ 農機具関係は減、DIY 工具関係も落ち着いてきている。欧州は停滞気味。
- ・ 国内は前年比微増だが米国が好調により年俸アップを求められている。
- ・ 太陽光発電についてデマンドコントロール、基本料金減につながられた。
- ・ 取引先の製造中止により新規取引先開拓が必要になっている。（二社購買等検討）
- ・ 短期間の原価増で来期計画が立てづらい傾向にある。

4) その他

7月6日(水)日刊工業新聞掲載記事のインタビュー時の感想を菊地副会長にお話しいただいた。

資 料

- 【資料 No. 1】 2022 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制
- 【資料 No. 2】 各委員会の事業計画策定
- 【資料 No. 3】 産業別高齢者雇用推進事業の件
- 【資料 No. 4】 鋼材硬度測定評価サービスのご案内

以上

2022 年 7 月 8 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 植田 昌克

監事 宮西 啓明

